



# 小城市立歴史資料館 \* 中林梧竹記念館だより

## 歴史資料館・中林梧竹記念館 「新収藏品展」を開催中です

本展示会では、昨年度、寄贈、寄託により収集した埋蔵文化財、古文書、婚礼衣装、中林梧竹書などを紹介しています。

資料を提供いただきました所有者の皆さんに、厚くお礼申し上げます。

◆期間 ~6月30日(日)

◆会場 歴史資料館 企画展示室

◆入場料 無料

◆主な展示資料

赤佐古墳群出土遺物、湯谷古墳群出土遺物など(鹿島市祐徳博物館寄贈)

小城藩関連古文書、玉型、打掛、中林梧竹書、納富介次郎先生銅像建設記念帖 など



▲打掛「佐賀錦」(昭和期)

## 第1期 中林梧竹記念館収藏品展 「屏風の名品」を開催中です

迫力ある作品の数々をどうぞご堪能ください。

◆期間 ~7月7日(日)

◆会場 中林梧竹記念館

◆入場料 200円

◆主な展示資料



▲金石不老(きんせきおおいず)

## おぎの歴史探検隊

### 小城隕石〈その3〉

### 小城郷土史研究会

鍋島家の家宝「七夕石」を分析調査したエドワード・ダイヴァース

ともあれこうして明治16年、小さな方の石が海を渡りました。

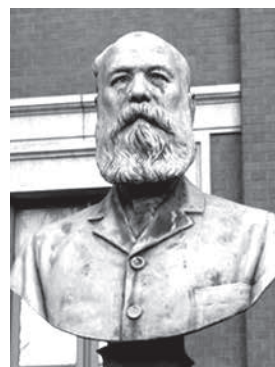
は、明治15年に報告書を発表しました。

その後、東京の鍋島邸に保管されていた大きな方の石は、先の大戦で被災して行方不明となり、結果的に難を免れた方の石が、「小城隕石」としてイギリスの博物館に残っているのです。

そこには、大小2つの隕石の重量(5.6kgと4.6kg)や詳細な成分表のほか、七夕伝説なども紹介されています。報告書は「日本アジア協会」の会報誌に掲載されました。

思えばドラマ的な話ですね。(完)

この時期、同協会の会長を務めたのが、イギリス公使のハリー・パークス。じつは彼こそ、七夕石の一つを大英自然史博物館に寄贈するよう、鍋島直虎に要請した人物でした。応諾した直虎の心境は、きっと複雑だったことでしょう。



▲ダイヴァース胸像

※開館時間 9時~17時

※休館日 毎週月曜日・祝日

小城市ホームページから

梧竹・歴史資料館・文化財

検索

【問合せ・申込み】歴史資料館 文化課(桜城館2階)

担当 下川・永田 ☎71・1132